

大阪府市場だより

第269号
(平成26年7月25日)
発行



絵：「うなぎ&アサガオ」 川口 瞳（大庄水産）

各専門部会員名簿

平成26年7月1日（敬称略）

	総務部会		福利厚生部会	計量部会	安全部会	食品衛生部会
部会長	理事 前田 進		理事 三木 博司	理事 濱崎 徹	副理事長 東野 達雄	理事 小増 春辰
北 果	理事 三木 博司	理事 山岡 茂	川村 徳夫	三戸部智一	高橋 善彦	能登 寿夫
大 果	理事長 植田 孝	理事 前田 進	運営委員 酒井 孝博	岡崎 信次	運営委員 細川 満	運営委員 棚口 直樹
うおいち	理事 三輪 光幸	理事 小増 春辰	運営委員 西田 雄祐	運営委員 山本 一秀	運営委員 永井 徳一	横川 貴行
大 水	理事 真部 誠司	理事 濱崎 徹	運営委員 西林 博文	運営委員 森田 智德	運営委員 西林 博文	運営委員 西林 博文
青仲組合	副理事長 東野 達雄	理事 永富 完次	運営委員 山本 敏明	西田 景典	平川 秀光	運営委員 今井 達見
水仲組合	副理事長 山口 秀雄	理事 田中 勝治	運営委員 冈村 佳和	運営委員 井上 幸治	運営委員 署野 则男	運営委員 松島 六男
北 冷	理事 畑 計廣		井上真樹子	大藪 邦雄	藤本美香子	味岡 真人
構成人員	13名		8名	8名	8名	8名

会議は、同氏が議長になり、平成25年度一般事業報告及び一般会計収支決算、特別事業報告及び特別会計収支決算、開場35周年記念事業報告及び特別会計収支決算、開場周年記念事業積立金及び特別会計収支決算、剩余金処分など7議案を審議し、いずれも原案通り承認・可決した。

次いで、各専門部会の部会長及び部会員について、各所属の推薦（別表）の通り承認した。

なお、役員は25年度とかわりない。

いる「大阪府市場の發展のためには、荷受仲卸さん、管理センターさん、そして大阪府のご協力をいただきながらやっていかねばならない。今後とも皆様方の絶大なご支援ご協力を賜り、府市場の活性化と繁栄のために一層頑張っていこう」と力強く述べられた。



府中央卸売市場協会（植田孝理事長）の平成26年度通常理事会が6月30日午前10時から管理棟会議室で、来賓に府中央卸売市場の山地英彦場長、木場康文次長を迎えて開催された。

はじめに、植田孝理事長から挨拶があり、「昨年度は、開場35周年の記念行事が盛大に開催でき、無事終了した。大阪府市場ここにありと、非常に反響のある市場まつりであったと思っている。」

催でき、無事終了した。大阪府市場ここにありと、非常に反響のある市場まつりであつたと思つてゐる。」



府市場協会通常理事会を開催

「競争力強化研究会」

定例常駐代表者会議 設置を決定

定例常駐代表者会議が7月17日10時から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（府水産物卸組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、「管理センター」の宮前統括から下記のとおり報告があつた。

山口議長から、「水産組合が買出し駐車場の適正利用を呼びかけるため、組合理事が手分けして仲卸の代表者に対して、不法に駐車した場合、警告書等をフロントガラス等に貼付することの承諾を求めるなど、積極的に取り組んでおり、皆さんもご理解ご協力を願いたい」と述べられました。

府市場「経営展望」の2年目を総括

府市場活性化協議会

大阪府中央卸売市場活性化協議会（会長：小林宏至、大阪府立大学名誉教授、市場関係事業者など17委員で構成）では、7月7日管理棟で、平成24年3月に策定した府市場経営展望「競争力ある市場をめざして」の基本戦略や施設整備の実施状況などをについて、進捗管理と評価を行つた。

協議会では、山地英彦府中央卸売市場長が、「場内事業者の皆さんと連携し、川上・川下からの信頼を勝ち取れるよう活性化に努めたい」と挨拶を述べた後、小林会長が議長となり議事が進められ、事務局の木場府次長か

ら順次説明があつた。

まず、基本戦略の小項目32のうち、昨年度なかつた評価である「◎：実



施し、顕著な成果をあげているもののが新たに設けられ、これに該当するものとして7項目が挙げられる。

場ゆるキャラの製作・運営」「市場の魅力を高める関連事業者の誘致」など4項目、そして府市場と管理センター・卸・仲卸との共同実施項目である「产地・大学との連携事業」「トイレなどの維持改修のスピードアップ」など3項目が挙げられている。

次に、取扱数量に関する目標の達成では、全体として対前年比で上回り、金額についてもプラスであった。

指定管理者の修繕費・活性化対策については、府の配当（修繕費53百万円・活性化対策費61百万円）に対して、管理センターの経営努力で捻出した財源を充当し約2倍の事業（修繕費124百万円・活性化対策費112百万円）を行い、市場の活性化に大きく貢献す

れた。また、「カラス対策では、水産卸売場で試験的にテグスを張っているが、効果があれば青果のほうでも行いたい。清掃関係では、トイレ掃除のチエックリストをつけたいと思つていて」と述べられた。

議題2、「競争力強化研究会の設置について、木場府次長から「経営展望の『将来に向けた基本戦略』や7月7日開催の活性化協議会で出された意見を踏まえ、川上・川下から選ばれる市場の実現に向け、効果的かつ具体的な方策を検討するため、開設者・卸売会社・仲卸組合・北冷・管理センターで構成する研究会の設

立地場長から、「当面できることから時間をおかげ実施していくたい」との話があつた。今年のテーマとして、「コールドチェーンの強化」があげられ、何からするのか（優先順位）、いつまでにするのか、そのために負担はどうするのか、などについて、市場内利用者の声を踏まえ整理することとされている。今年秋までに報告書を作成し、府予算要求や管理センターの来年度基本方針に反映することを目指す。

（4）平成27年カラーランダードの挿絵について審議され、次回までの検討とされた。

したとの説明があつた。

委員の主な意見では、○新たな顧客を呼び込むにはどのような要件・方法がいるのか、具体に検討する必要がある。○顧客が市場を選択するので、活性化のためにはニーズに応える施設（コールドチェーン化や保冷庫）を持つ必要があるとの指摘があつた。山地場長から喫緊の重要な指摘であり、競争力の強化を考える研究会を立ち上げるので、協力いただきたいと述べられた。

また、全国的に見ても府と市は使用料が高すぎることや府民への供給責任を果たすために努力して欲しいとの意見があり、増永府流通対策室長から、スピードと明確性、実行力が大事なので、しっかりと報告したいと述べられた。

議題3（1）木場府次長から、8月9日の大阪新阪急ホテルとの連携事業「产地フェア2014」の紹介など6月と7月の活性化事業の概要が説明された。

（2）事務局から7月15日開催の市場開放デー実行委員会の概要が報告され、実施要領案が了承された。

（3）事務局から協会行事予定が示された。小増・食品衛生部会長から、8月6日の食品衛生講習会は夏の重要な時期に開催され、できるだけ多くの皆さんのお出席をお願いしたいと依頼された。

（4）平成27年カラーランダードの挿絵について審議され、次回までの検討とされた。

（5）新阪急ホテル産地フェア（8／9）。商標登録を申請中○大阪府ゆるきやら「モッピー」の名称公募に協力し旬の食材を提供。

◇木製廃棄パレットの投棄抑制○6月前年度比1190枚減少△引き続き投棄抑制、監視強化

◇不法投棄の防止徹底○警備員による監視強化、防犯カメラによる投棄者の特定△即警察へ通報、告発。

◇カラス対策○仲卸店舗上方にテグス張り○ごみ置き場ネットを閉じることを徹底（警報文書を各ごみ置場に掲示、防犯カメラの活用）

□指定管理者制度の視察△大分市（7／3）盛岡市議会（7／15）

□市場流通状況調査10／4（土）予定□自動車排ガス規制適合車流込調査（7／18）□買出入駐車場の適正利用（水産）

市場活性化事業

厚生労働省医薬食品局
食品安全部では、食品衛
生の普及向上、食品関係
営業者の指導及び食品安全
行政への協力等に対す
る功績が特に顕著であつ
て、他の模範と認められ
る公益社団法人日本食品
衛生協会支部・支所の役
員等に対し、その功績を
讃え劳苦に報いるため食
品安全部長表彰を行つて
いる。6月24日に神戸市
で開催された平成26年度
日本食品衛生協会近畿ブ
ロック大会において、当
市場関係では次の2名の
方が受賞された。



井上幸治氏（56歳）
府水産物卸協同組合理
事・業務委員長、株は
まじま水産代表取締役



遠野功氏（72歳）中央卸売市場加工食品
卸売商業協同組合理事、遠野商店代表者

昭弘氏（府水産物卸協同組合副理事長）、青果部総括責任者に細田喜代司氏（府青果卸賣協同組合副理事長）を選出した。
榎本委員長の司会進行で、今年度に開催する市場開放デーの実施要領案を次のように決めた。
1 開催日時：11月9日（日）午前9時から正午
2 実施場所：水産棟1階せり場（水産大通りを含む）
3 開催内容：①青果・水産物即売コーナー②マグロの解体

市場開放デー実行委員名簿

平成 26 年 7 月 15 日 (敬称略)

「市場開放デー実行委員会」が発足し、7月15日午前11時から第1回目の会合を市場協会会議室で開催した。

厚生労働省食品安全部長表彰

大阪府中央卸売市場では、生鮮食料品の消費拡大キャンペーングや育事業などさまざまな活性化策を展開している。

大阪新阪急ホテルとの連携

△産地フエア2014ホテル

⑧マルシエ

品や旬の青果物などを使つたシエフの創作料理を販売するはじめの試み。産地フエアは、北海道から鹿児島まで21道府県のブースが設置され、野菜や果物、黒毛和牛や加工品を販売するほか、地元の食材を使つたシエフの創作料理が販売される。また、府市場と事業連携する梅花女子大学が産地とのコラボで料理を提供するほか追手門太学による模擬セリもある。府市場のゆるキャラ「せりちゃん」、熊本県の「くまモン」も参加する

アとの事業
阪成蹊短期
の学生さん
が考えた味
開発。7月
1日から7
月21日まで
の期間限定
で、「コンビニ
エンスストア
asnas（ア
ズナス）」で
発売された

（アズナス）で、コンビニエンスストア連携を図るため、大別大学（調理クラス）たちが、「調理師の卵や弁当」を3種類

件の「事件数」は931件でした。これを「病因物質」(原因となつた物質)別に事件数をみると、一位は「ノロウイルス」で328件、二位は「カンピロバクター」で227件、そして三位は「アニサキス」88件となりました。

アニサキスは昔からよく知られていて、寄生虫で、サバ、サンマ、カツオ、イカ、アジなどに寄生している魚介類を加熱不十分な状態で食べると、時として激しい腹痛などの健康被害を起

◆大阪成蹊短大との連携
◆コラボ弁当を発売!

だより 検

アニサキスによる食中毒について

食品衛生検査所

刺身や寿司は日本食を代表するメニューで、美味なことと、ヘルシーなことが評価され、日本人のみならず今や世界中で人気を博しています。今後の発展のためにも、徹底した衛生管理が求められています。なお、参考として現在有効と考えられる対策は次のとおりです。

「アニサキス食中毒予防法」

○加熱(60~70℃)または冷凍(マイナス20℃以下)

○新鮮な魚を選び、(内臓から笠肉部に虫が移動しないうちに)速やかに内臓を取り除く。内臓を生で食べない。

○目視で確認して、アニサキス幼虫を除去する。(内臓に近い筋肉部は特に要注意)

参加者募集

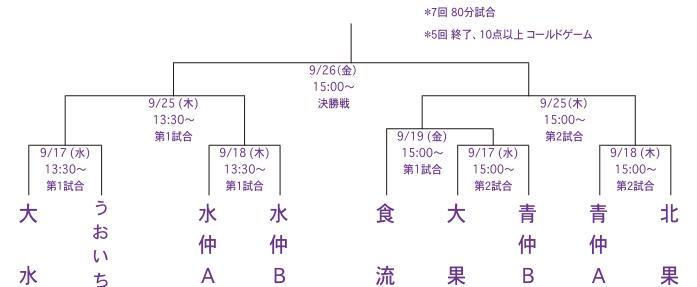


文化祭作品募集

絵画・写真・書道・生け花
文芸作品（俳句・俳諧・川柳等）
園芸作品（菊・盆栽等）
手芸（刺繍・編物・バッチャワーク・
シャドーボックス・トールペイント・アートフラワー等）

申込締切日：平成26年10月6日(月)
作品搬入日：平成26年10月15日(水)
開催日：平成26年10月16・17日

第36回ソフトボール大会組合せ表



支社は、7月8日に水産棟の各展示会には、併せて約400社のメーカーが練り製品、麺、和菓子、和惣菜、中華惣菜や塩干品などを中心に、この秋冬に向けての一押しアイテムを出展した。

4月からの消費税増税や原料価格高騰を背景に、既存商品を値上げする練り製品メーカーが増えとともに、各メーカーは



一層素材を強調したり、加工度を高めて惣菜風にするなどの付加価値の高い新商品の投入など様々なアイデアを盛り込んだ商品を多数展示。仲卸や量販店の担当者などが多く来場し、所狭しと並ぶサンプルの前では商談を行っている人たちで賑わつた。

水産卸2社

秋冬用加工食品の展示会

府市場協会文化祭等 実行委員決まる

(府市場関係) (敬称略) () 内は前職

○(株)大水 7月1日付

○(新任) 取締役北部支社果実部

会長・三木博司

大阪北部中央青果(社長)では、文化祭・ソフトボール・ボーリング大会の実行委員が、別紙のとおり決まつた。

幹事長

岩佐 茂

山崎 宏美

岡崎 恵次

櫻井 通平

吉永 真介

寺前 みち子

近藤 智恵子

當真 恵眞

多田 寿恵広

多田 寿恵広

多田 寿恵広

井上 真樹子

井上 真樹子

井上 真樹子

大門 正裕

大門 正裕

大門 正裕

松本 烈臣

松本 烈臣

島田 敬三

各行事の実行委員名簿 (敬称略)

	ソフトボール	文化祭	ボウリング
北果	谷山 善広	山添 京子	佐々木 功民
大果	岩佐 茂	山崎 宏美	岡崎 恵次
うおいち	櫻井 通平	櫻井 通平	櫻井 通平
大水	畠 賢介	寺前 みち子	吉永 真介
青仲	時田 桂子	近藤 智恵子	當真 恵眞
A	多田 寿恵広	多田 寿恵広	多田 寿恵広
B	井上 真樹子	井上 真樹子	井上 真樹子
食流	大門 正裕	大門 正裕	大門 正裕
管理センター	松本 烈臣	松本 烈臣	松本 烈臣
大阪府	島田 敬三		

「一口お魚料理教室」の開催日程決まる

神田和久

雄理事長

府水産物卸協同組合 (山口秀

輔管理課長 (同課) 西林博文

(転出) ▽東部支社・管理グル

ープ管理課長 (同課長) 取締役

長・間宮武

○(株)大水 7月1日付

○(新任) 取締役北部支社果実部

会長・三木博司

大阪北部中央青果(社長)では、文化祭・ソフトボール・ボーリング大会の実行委員が、別紙のとおり決まつた。

幹事長

岩佐 茂

山崎 宏美

岡崎 恵次

櫻井 通平

吉永 真介

寺前 みち子

近藤 智恵子

當真 恵眞

多田 寿恵広

多田 寿恵広

多田 寿恵広

井上 真樹子

井上 真樹子

井上 真樹子

大門 正裕

大門 正裕

大門 正裕

松本 烈臣

松本 烈臣

島田 敬三

食品衛生指導員研修会及び食品衛生講習会にご参加を!

市場協会食品衛生部会 (小増辰春部会長) と府食品衛生検査所は、合同で研修・講習会を、8月6日11時から管理棟7階大会議室で開催する。講習会では、「家庭料理」を一層身近なものにして欲しいとの願いで、昭和57年から地域の団体に出向いて同教室を開催している。教室では、同組合拠販委員会 (長尾昌哲委員長) の役員と卸売会社の(株)うおいち・(株)大水の担当者が指導され、毎年好評を博している。

府立公衆衛生研究所の左近直美主任研究員が「ノロウイルスについて」をテーマに講演することになつており、衛生管理が重要なこの時期、ぜひご参加をと呼びかけている。

協会主催行事の日程
○協会主催ゴルフ大会
○講義・筆記テスト
○フォーラクリフト講習会
○実技・最終日実技テスト
19日(日)・22日(水)・26日(日)

9月10日(水)・10月8日(日)

11月18日府立福井高校

12月4日茨木市のびっこ(玉島小)◇
1月14日茨木天王公民館運営委員会(天王公民館)◇
1月23日茨木市消費者協会(市民総合センター内)◇
2月12日茨木市立春日小学校家庭教育委員会(春日コミュニティセンター)

西 加奈子著 文春文庫

百田 尚樹著 光文社
辻村 深月著 講談社

※ 円卓
※ プリズム
※ 虚ろな十字架
※ 女のいない男たち
村上 春樹著 文芸春秋

新着図書案内 (6・7月分)

卸売業者取扱高 (平成 26 年 6 月)

大阪府中央卸売市場

卸売業種	種類	数量 (トン)	前年比%	金額 (千円)	前年比%
青 果	野 菜	12,031	110.2	2,352,953	112.3
	果 実	4,118	100.8	1,385,136	111.6
	小 計	16,149	107.7	3,738,089	112.0
水 産 物	生鮮水産物	2,013	101.5	1,539,663	108.0
	冷凍水産物	379	90.8	359,093	104.3
	加工水産物	1,111	99.9	1,053,014	117.4
	冷凍食品	325	107.6	156,864	106.6
	小 計	3,829	100.4	3,108,633	110.5
卸売業 計		19,978	106.2	6,846,722	111.3

平成 26 年・25 年 6 月 開場日数 21 日

お手持ち本の寄贈も受けております